

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■三菱電機、FA業界コラム「世界が抱える数々の課題を日本のものづくりがサイバー空間との連携で解決する」公開

三菱電機は、FAサイト内にある同社の情報メディア「The Art of Manufacturing」に、FAシステム事業本部産業メカトロニクス事業部の主席技監の安井公治氏へのインタビューをまとめたFA業界コラム「世界が抱える数々の課題を日本のものづくりがサイバー空間との連携で解決する」を公開した。

社会が大変革に直面するなか、スマート化は当然の流れになっており、この時代のものづくり企業にとって、スマート化には何が必要であり、何をなすべきなのかを解説している。

■富士電機、EV充電サービスのユビ電に出資

富士電機は、EV充電サービスを展開するユビ電に出資を行った。

ユビ電は、2019年に創業し、集合住宅や商業施設等の駐車場向けを中心に、EV充電サービスを展開するスタートアップ企業。車両登録、充電、料金精算までをスマホアプリで完結するEV充電サービス「WeCharge」の提供を通じて、EV充電システムの構築、普及を日本全国で推し進めている。

富士電機は現在、「WeCharge」向けに複数のEV充電器を束ねて電力供給を集中的に監視・制御する「充電コントローラ」を提供しており、今回の出資によって協業を強化する。

■アズビル、納入事例に北興化学工業岡山工場の事例を掲載

アズビルは、同社WEBの納入事例ページに、北興化学工業岡山工場の事例を掲載した。

SDGs達成に向けた取り組みによりサステナブルな社会への貢献を目指す北興化学工業では、ファインケミカル製品の主力生産拠点である岡山工場で省エネルギーを推進。燃料転換など大規模な投資を伴う取り組みの準備を進める傍らで、既存の設備を生かした形でエネルギーマネジメントシステム(EMS)による見える化をベースに各種施策を展開し、エネルギーの無駄を解消するなど、着実に成果を上げているとし、その内容を紹介している。



■横河デジタルと運用計画最適化AIソリューションのALGO ARTISが資本業務提携

横河電機の子会社の横河デジタルは、運用計画最適化AIソリューションを展開するALGO ARTISと資本業務提携契約を締結した。

ALGO ARTISは、SCM領域の計画最適化AIソリューション「Optium(オプティウム)」を製造業等へ提供しており、資本業務提携



携によって横河デジタルが有するプラント内の制御・解析領域のAIとALGO ARTISが有する計画最適化AIソリューションの提案・導入活動において協業を進めていく。

■富士電機機器制御、北陸営業課 金沢事務所を移転 富士電機機器制御は、北陸営業課 金沢事務所を移転し、9月4日から営業を開始した。新住所は〒920-0853 石川県金沢市本町1丁目5番2号リファール8階、電話番号は076-205-0455。

■ワゴジャパン、東京オフィスDALIセミナールームがリニューアル。見学申込み受付中

ワゴジャパンは、東京・錦糸町の本社・東京オフィスのDALIセミナールームのリニューアルを行い、オフィス環境でDALIが体験できるようになった。

セミナールームのほかに3つの部屋でDALIを体験できるようにし、Linux搭載コントローラを設置し、DALI対応メーカーのパナソニック、東芝ライテック、三菱電機照明、コイズミ照明の照明を設置して照明の制御を体験可能。またEnOcean無線ソリューション、スポットライト



■北陽電機、WEBサイトの「製品の原理」に4単語の用語解説を追加

北陽電機は、同社WEBサイトの「製品の原理」の解説コーナーに4単語「ノード」「UI」「API」「ROS」の用語解説を追加した。

■リタール、ブログ記事を公開「UL508A規格の概要ー制御盤の安全性と規格」

リタールは、ブログ記事「UL508A規格の概要ー制御盤の安全性と規格」を公開した。

「UL508A」は、制御盤の安全性向上、北米地域への製品輸出の際に重要となる規格で、UL508Aに準拠した制御盤を製作する際は、UL認証品による部品選定や「NFPA70」「NFPA79」といった関連規格の参照などへの注意が必要となり、ブログ記事ではUL508Aの概要、関連規格や制御盤製作時のポイントを解説している。

FA流通・商社トピックス

■カナデン、2024年3月期第2四半期業績予想を上方修正 半導体・デバイスの好調を受け

カナデンは、2024年3月期第2四半期の業績予想について、半導体・デバイスが順調に推移していることを受けて、営業利益と純利益を上方修正した。修正後の業績予想は、売上高520億円(修正なし)、営業利益は14億5000万円(+2億円)、純利益は10億5000万円(+2億5000万円)。通期の業績予想は修正なし。

■カナデン、製品サイトで物流(AGV・AMR)の情報をもとめたコンテンツ掲載開始



公開開始時点では、AGV・AMRの基礎知識や関連製品情報をもとめたものになっており、「AGV(無人搬送車)とは」「AGVの種類とは」「AGVの仕組み」「AGVのメリットとは」「AMR(自律走行搬送ロボット)とは」「AMRのメリットとデメリット」などが掲載されている。

■サンワテクノス、横浜支店を移転

サンワテクノスは、横浜支店を移転し、8月21日から新事務所での営業を開始した。新住所は神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-12新横浜スクエアビル6F、電話番号は045-471-5715。

■サンワテクノス、台湾の台北国際自動化工業展の出展レポート動画を公開

サンワテクノスは、2023年8月23日から26日に台湾で開催された産業オートメーションの展示会「台北国際自動化工業展」に出展。会場やブースの雰囲気、出展製品の様子を、同社のバーチャルプロモーション担当の「三来部(みくるべ)さんわ」ちゃんが紹介する動画をYoutubeで公開した。



ブースでは取扱製品をデモ機を中心に展示し、ロボットを操作してモグラ叩きゲームができるデモ機や、高速スピンドルモータ搭載ロボットが3種類のツールを駆使した加工デモなどを紹介している。

■福西電機、ダイバーシティなど多様な働き方を推進する「DEI推進室」設置

福西電機は、「ダイバーシティ(多様性)」「エクイティ(公平性)」「インクルージョン(包括性)」を実現して働きやすい職場環境を実現する組織として「DEI推進室」を設置した。

■スズデン、宮城県黒川郡の大和工場が、鹿島建設の広報誌「KAJIMA」に掲載

スズデンは、2022年5月から操業を開始した宮城県黒川郡の大和工場が、鹿島建設の広報誌「KAJIMA」のKworksコーナーに掲載された。



同工場は、スズデンを発注者として鹿島建設東北支店建築設計部が設計を担当。2021年7月に建設を開始

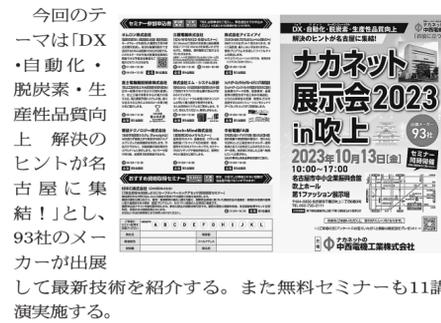
し、2022年3月に完成。2022年5月に稼働を開始し、半導体製造装置向けにアルミフレームの組み立て等をおこなっている。

■スズデン、2023年8月度の売上推移速報を公開 売上高41億3900万円(前年同月比27.7%減)

スズデンは、2023年8月度の売上推移速報を公開した。8月度の売上高は前年同月比27.7%減の41億3900万円で、上期累計で229億3000万円(15.0%減)となった。

■中西電機工業、10月13日に名古屋市中吹上ホールで「ナカネット展示会」開催

中西電機工業は、10月13日10時から17時に名古屋市中吹上ホール(名古屋市中企業振興会館)でイベント展「ナカネット展示会」を開催する。



■ソルトン、製品コラムに「キャプトロン社 静電容量式センサスイッチ①」公開

ソルトンは、同社WEBの製品コラムに「キャプトロン社 静電容量式センサスイッチ①」を公開した。

キャプトロン社(CAPTRON社)は、1983年設立の静電容量の技術を専門的に研究しているドイツ企業で、同社の静電容量式センサスイッチは欧州を中心に、バス・電車などのモビリティ業界、重機・建機メーカー、プレスマシン・カuttingマシンなど危険を伴う装置などに幅広く採用されている。



■英和、フランス・コトララボ社の日本総代理店販売に 産業用聴覚保護具の取扱いを開始

英和は、フランス・コトララボ社と日本総代理店契約を締結し、同社の産業用聴覚保護具の取扱いを開始した。日本国内では同社が販売し、株式会社ビジョナリーホールディングスが耳型採取を担当する。

■萬正電機、2024年3月期第1四半期業績 売上高63億6700万円(前年同期比34.7%増)

萬正電機は、2024年3月期第1四半期業績を発表し、売上高は63億6700万円(34.7%増)、営業利益は4億2800万円(223.8%増)、純利益は3億1500万円(170.9%増)となった。電気機器・産業用システムは、一部の顧客で在庫調整が続いたが、設備投資が堅調に推移し、データセンターや機械装置向けに配電制御機器やFA機器が伸び、売上高27億4300万円(18.8%増)となった。

世界の製造業が採用 IPC 品質標準規格

IPC A 600 電子組立品の許容基準

IPC-A-610G 電子組立品の許容基準

IPC-A-610GA 自動車・車載向け追加要求事項

グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に――

ジャパンユニックスではIPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずは web からダウンロード 『IPC』『規格』『無料』で 検索

はんだ付工程を 見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に

ジャパンユニックス製品 導入事例集 web にて公開 『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス 本 社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554
http://www.japanunix.com 大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503

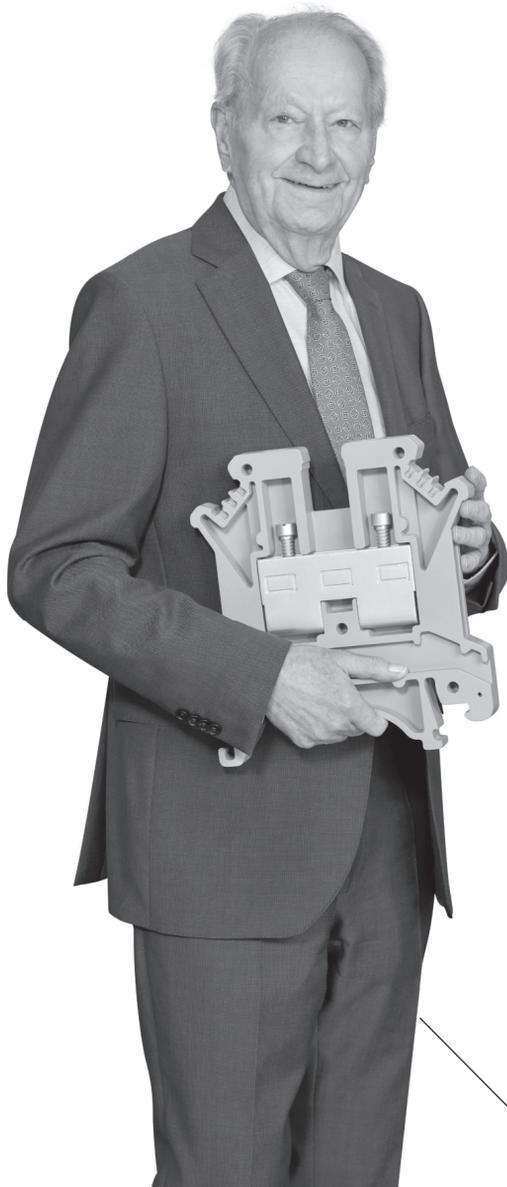


← 当社ホームページに周年特集記事を掲載中!



Empowering the All Electric Society

革新的テクノロジーを接点にサステナブルな社会の未来へ貢献する
フエニックス・コンタクトへ



100 years of passion
for technology
and innovation

35th
ANNIVERSARY

フエニックス・コンタクトは2023年本社創設100周年、日本法人設立35周年を迎えることができました。これまで弊社製品をご愛顧、ご支援賜りました全てのお客さま、お取引先、パートナーの皆さまに心より感謝申し上げます。

弊社は現在“**All Electric Society**”のコンセプトを掲げ、電化、ネットワーク化、オートメーション化を推進する、10万種以上の革新的な製品群により、気候変動防止対策、持続可能な事業の実現を支援すべく取り組んでおります。

フエニックス・コンタクトは、今後も皆さまと共に、持続可能な産業と社会づくりに貢献してまいります。

お客様の声を聴き、改善し、前向きに考えることで成功する
エネルギーの最適利用は、1923年の創業以来、
フエニックス・コンタクトの使命です。
クラウス・アイザート (Klaus Eisert) Shareholder of Phoenix Contact



ビルディングオートメーション



ファクトリーオートメーション



インフラストラクチャ



通信ネットワーク・5G



再生可能エネルギー



E-モビリティ

安定した需要続く配線接続機器

幅広い分野で引き合い活発

端子台、コネクタなどの配線接続機器の需要が拡大している。工場などの設備投資や都市開発に伴う建設需要、そして情報化の進展に伴う情報通信インフラ整備がけん引している。このころ人手不足や人件費高騰などへの対応も深刻で、配線接続機器も省人・省工数化につながる製品開発が進んでいる。大きな問題になっている納期対応もようやく収束の方向に向かっているが、一方で、原材料価格の高騰が進んでおり、利益面で苦戦しているメーカーも多い。先行きの需要は堅調拡大が見込めることから市場環境は非常に明るい状況が継続してきている。

配線接続機器は、機器・装置の配線をスムーズに電気や信号を伝ふる重要な役割を果たしている。通信用などの微少用途から高圧電流など大容量用途まで幅広い。5GやIoTなどの情報通信のインフラ投資や自動車のEV関連投資、さらには人手不足を背景にした自動化・省人化投資の拡大で、需要は大きく拡大している。

こうした旺盛な需要の一方で、原材料の調達難から大幅な納期遅延が発生して大きな社会問題になったが、ここきてようやく生産対応が間に合うようになり、納期問題は解決に向かっている。また、円安や海外の政治不安も絡んで原材料価格が大幅に上昇しており、配線接続機器メーカーの利益を圧迫している。各社とも価格改定を進めてコストアップ分の転嫁に取り組んでいるところが多い。

配線接続機器の用途は、電子・電気機械から自動車・電機などの輸送機器、受配電設備、情報通信設備など、電気が使われるあらゆる分野に広がっている。昨今のデジタル化の進展は、配線接続機器の用途をさらに加速させている。

この一方で、配線接続作業の省力化・省工数化を求める声も強まっている。人手不足が深刻になっていることに加え、熟練作業者の減少もあり、未熟業者でも簡単に、かつ安定した品質で作業ができるような製品開発を求める声も多い。そこで、配線接続機器では、省配線化や省工数につながる製品への関心が高まっている。

納期遅延問題は収束の方向 人手不足背景に進む省力化



はねじ式の使用が多い。接続信頼性が高いというのが大きな理由だ。スプリング式はケーブルを押し込めただけで配線作業が完了し、ねじ締め作業や締め加減も不要など、省力化効果は大きい。また配線作業が不慣れた初心者であっても簡単に作業ができることから、熟練作業員不足を補って技術習得に時間がかからず、懸念されていた振動での配線の緩みや経年での信頼性に対する心配も使用実績を重ねることで払拭され、採用加速への追い風になっている。そして、このスプリング式もここきて大きく変化している。そのひとつが配線工具不要で配線作業が可能になったことだ。

従来、専用の配線工具を使用する方法が多かったが、ケーブルのサイズによっては分けが必要となることもあり、配線作業の省力化につながる一方で、煩わしさもあった。配線工具には、配線ケーブルの先にフェルルルを装着するための工具もある。しかし、そのフェルルルも最近使用しない配線する方法が登場している。ケーブルをそのまま端子台に差し込むことで配線作業が完了することから、一段と省工数化が図られる。配線がきちんと接続できているかを確かめることができるインジケータ表示が可能になっているものも少なくない。作業ミスなど接続不良の防止にもつながることで、接続信頼性はさらに高まることになる。このようにスプリング式の接続方法は日進月歩で改良が進んで、使いやすさが増している。同時に用途も、従来のスプリング式は制御

用途や電流用途を中心に普及が進んでいるが、ここ数年、電磁開閉器や配線ケーブルに加え、操作スイッチやスイッチ電源など、従来のねじ締め式接続が使用されていた機器でもスプリング式の採用が増えている。さらに、大電流用途でのスプリング式端子台のラインナップも急速に拡大している。1500V/300Aの高圧・高電流動力・電源用途に対応したドライブを使用するワンタッチ式の電線接続が可能で端子台も販売されている。

大電流用途では、丸型圧着端子台(丸端)で配線後の締めを要するといった習慣が定着しているが、スプリング式の接続信頼性に対する評価の高まりに加え、人手不足も重なり、徐々にこの習慣が多くなりつつある。増し締めが必要にならないことで、トータルコスト面もスプリング式の優位性が高くなってきている。市場に大きな変化が出始めている。日本では公共建築物や送配電分野ではねじ式が多く使用されているが、法的な規制が徐々に見直され、国土交通省発行の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)の令和4年(2022)年度版に、「ねじなし端子台」が制御盤に使用する器具の端子として追加された。これによりスプリング端子を国土交通省公認の公共建築にも使用できるようになった。

最近欧州を中心に、プリント基板外部端子台使用しない直接給電するための大電流対応コネクタの要求が高まっている。大容量の電源、インバータ、サーボアンプなどでプリント基板に直接給電することで、大幅な小型化と電力損失の低減が図られ、省エネ化につながるというのだ。コネクタの採用で電線のハーネス化による組み立て作業やボード交換などのメンテナンス性が図られるという効果も見込める。

作業能率向上へ自動機活用

レバーがキモです

WAGO レバー式マルチコネクションシステム

レバー操作で簡単・確実な結線

- レバーを上下するだけで、工具不要で簡単結線。
- レバーの位置で結線状態がひと目でわかり安心・確実。
- 0.14 ~ 16mm² に対応する 4 シリーズをラインナップ。

詳細はこちら

ワゴ ジャパン 株式会社 www.wago.co.jp

PHOENIX CONTACT

大電流用端子台「PTPOWER」シリーズ

簡単・安全・スピーディーなPush-inテクノロジーならフェニックス・コンタクト

- 最大185mm²の電線断面積に対応 (最大309A / 1500V)
- 「パワーターン接続」でレバーを回転するだけで電線をすばやく接続
- 「圧着レス」で圧着端子が不要、さらに作業負担を軽減
- DINレール取付け、直取付けを選択可能 サイズは4タイプ
- 専用アクセサリで渡り配線、分岐も簡単
- PTPOWERとねじ式端子台の作業を徹底比較! Youtube動画はこちら! ▶▶▶

www.phoenixcontact.co.jp

フェニックス・コンタクト株式会社

東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店
03-6712-3088 048-631-3371 022-226-8890 076-210-4360 054-202-6324 052-589-3810 06-6350-2722 075-325-5990 082-568-1664 092-418-2030

タナベコンサルティンググループ

WE ARE BUSINESS DOCTORS

since 1957

ストラテジー & ドメイン / デジタル・DX / HR /
ファイナンス・M&A / ブランディング&マーケティング

製造系研究会開催中!

日本全国の「ファーストコールカンパニー（顧客から一番に選ばれるサステナブル企業）」の先進事例、成功事例を研究。ゲスト企業による実践型講義・現場視察から、現場の“リアルなポイント”を学べます。また、同じ志を持つ多種多様な参加企業・参加者との情報交換も可能です。

尖端技術研究会

スマートファクトリー研究会

東京都千代田区丸の内1-8-2、大阪市淀川区宮原3-3-41

タナベコンサル

配線接続機器

主要各社の製品紹介

不二電機工業

電線接続表示(インジケータ)付き アース速結端子台「TPG形」



不二電機工業の専用分電盤なめ作業がはたため、配線を差し込める省施工に貢献する電線接続表示(インジケータ)付きアース速結端子台「TPG形」は、ねじ締め作業が約4分の1に短縮できる。このため、アース配線の作業時間が約4分の1に、プスパーへの取り付け時間の約3分の1に短縮できる。また、ねじ締め作業も不要で、ねじ締め作業の管理や専用工具管理もなくなる。また、電線接続状態の表示(インジケータ)は、電線が確実に接続されたことを確認できる。400sqまで対応可能。

省工数で接続状態を表示

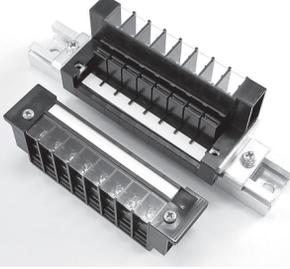
ねじから表示される構造により、「安心・安全・確実」な作業を実現。差込み接続の不安を解消できる。寸法サイズは、プレートの大きさに合わせて標準幅で設計しており、省スペースに貢献する。さらに、プスパーへの取り付けのねじは本体に組み込まれているため、ねじの落下の心配がなく、安全かつ効率的に取り付けができる。

一方、アルミ端子台シリーズの「TXS-IGA形」は、各ケーブルの共同開閉により、端子台ケール・圧着端子の導電部等にアルミを使用した「インテグレート」システムに対応。スタッドタイプで充実のラインアップ。アルミケーブル38sq以上400sqまで対応可能。

<https://www.fujidk.co.jp>

Wash i ON共立継器

盤間端子台「BKT-20形」



配線時間短縮と誤配線防止

電磁接触器で高い実績を有するWash i ON共立継器は、盤間端子台「BKT-20形」の販売に、これまで、端子台の1次側、2次側を分離できるもので、盤間の配線作業時間を短縮でき、設置する場所での配線作業時に、誤配線を心配する必要がない。配電盤間や制御盤間の配線接続、および取り外しが容易に行え、端子ねじはバネアプ式のため、配線作業性も良い。一般的に、盤を出荷する前に工場での電気検査を行った後、出荷時にはいったん分離し、現場で設置時に再び組み立てるが、盤間端子台を使うことで、制御線を分離することなく端子台で接続ができる。また、工場検査などでは1台の試験器で複数台の製品検査を行う場合などにおいても、盤間端子台を使うことで配線工数の削減ができる。さらに、盤をリブレイス場合でも工数の削減が可能になる。DINレール、およびNHLレールに搭載可能定格絶縁電圧は600V30A・40Aで、20A対応品も開発する予定。準拠規格はJIS C 8801-7-1、NECA C 8801-1。適合電線は3・5・5・5・5sq。

<https://www.washion.co.jp>

WAGO

レバー操作タイプコネクタ



工具不要で結線が容易

WAGO社は、レバー操作で電線コネクタのラインアップを強化し、線を接続できる「Push in」技術。Cage Clamp フランジ式。特長は、①指で操作でき、工具が不要で結線が可能。②製造ラインアップは、3・5mmピッチ0・14・1・5mm/10A、5mmピッチ0・2・2・5mm/16A、7・62mmピッチ0・5・10mm/41A、10・16mmピッチ0・75・25mm/76Aの4種類を用意。信号線から電源線まで幅広い用途に対応できる。専用アクセサリとして脱着防止用ロックングデバイスやジャンパ、コーディングキーなども用意(機種により設定有無あり)。

がなくても圧着端子不要で電線の接続、取り外しができる。複数のレバーを開放状態で保持できるため、容易に③レバーの位置でフランジの閉鎖状態が明確に判るため、確実な作業ができる。④フェール圧着線や単線は差し込むだけの「プッシュイン」結線が可能。

<https://www.wago.co.jp/>

ワイドミュラー

自動電線剥き&圧着機「CRIMPFIX LS」



自動工具の需要増に対応

ワイドミュラーは、各種の配線。接続向けに工具事業を展開している。日本市場は、長年ネジ接続技術が主流であったが、ヨーロッパ式PUSH-INの10年産業界には、接続技術の普及もあり、それに対応する自動工具の需要が増している。多くの自動工具の中から、まず「IN」接続技術が普及し、推定40%近い配線機、自動圧着機、さらには自動電線剥き兼圧着機の4種類を日本市場に展開する。特に自動電線剥き兼圧着機は、日本の電線径0・3・0・5・0・75・1・25・2mmに対応している。東京・品川の本社には、前年実績を超えるデモ機も用意している。

昨今の製造現場での人手不足、人件費高騰から現場では作業効率を重視する傾向が強い。さらには、ヨーロッパ式PUSH-INの接続技術の普及もあり、それに対応する自動工具の需要が増している。多くの自動工具の中から、まず「IN」接続技術が普及し、推定40%近い配線機、自動圧着機、さらには自動電線剥き兼圧着機の4種類を日本市場に展開する。特に自動電線剥き兼圧着機は、日本の電線径0・3・0・5・0・75・1・25・2mmに対応している。東京・品川の本社には、前年実績を超えるデモ機も用意している。

<https://www.weidmuller.co.jp/ja/index.jsp>

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTITE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.

OTAX SHANGHAI LIMITED

OTAX KOREA CO., LTD.

OTAX CO., LTD.

OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.

AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.

OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.

OTAX HONG KONG LIMITED

OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.

OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ

スライド
ピアノ
ロータリー

金属加工関連

アルミニウム加工
MIIM・精密ネジ

ヘルスケア

医療機器
ウェアラブル

操作スイッチ

トグル
ロッカー
押ボタン

コネクター

各種コネクター
テストソケット

端子台

FA用
エアコン用

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→https://www.automation-news.jp/category/factory/

国内

■YKK AP、埼玉県児玉郡美里町の埼玉工場の新建屋が完成&稼働開始

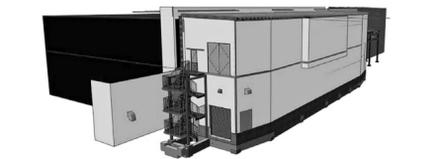
YKK APは、首都圏・東日本エリアへの競争力を強化するビル事業の基幹工場として埼玉県美里町に建設を進めていた埼玉工場の新建屋が5月に完成し、7月31日から操業を開始した。



同工場はビル用アルミ建材商品の製造拠点で、新建屋では社内の機械製造部門による合理化設備での集約生産、自動化工程の拡大、データ連動したラインづくりなどのモノづくり改革により、製造コストを従来の25%削減。また、ユニットロード化やモーターシフトによるロジスティクス改革も含め、発注から納品までのリードタイムを最大11日短縮している。さらに、「働きがいのある工場」をコンセプトに高断熱外皮や断熱性・換気性に優れた窓、調光照明、高効率空調を採用してCO2排出量を30%削減。太陽光発電(発電能力1時間あたり1100kWh)と再生可能エネルギー調達によってCO2排出実質ゼロを実現するほか、雨水の利用も行い、地球環境や働く人にやさしい工場を目指す。

新建屋は鉄骨造2階建て、敷地面積は4万1920平方メートル、延床面積は2万3078平方メートル。投資金額は、合計約58億円(土地8億円、建屋34億円、設備他16億円)。

■カンロ、長野県松本市の松本工場でグミ生産設備を増強 生産能力30%増へ



カンロ鉛やグミなどを製造販売するカンロは、長野県松本市大字笹賀の松本工場のグミ製造棟を拡張し生産力を強化する。

昨今のグミアブームを背景にグミ市場は拡大傾向が継続しており、今回のグミ製造棟の拡張によって松本工場の生産能力は約30%増となる。増築分の延床面積は約700平方メートルで、完成後は既存のグミ製造棟2400平方メートルと合わせて3100平方メートルとなる。投資予定金額は約1.4億円。2023年に建設開始し、2024年10月に稼働開始予定。

Fukunishi logo and text: 人・技術・情報の架け橋となり、最適解で「福」あふれる未来をつくる。福西電機株式会社

■岡本硝子、千葉県柏市の本社工場でガラス生産設備を増強

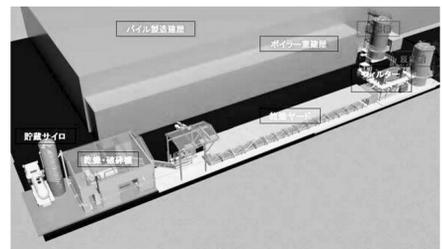
岡本硝子は、プロジェクター用フライアイレンズを製造する千葉県柏市の本社工場(千葉県柏市十倉二380番地)について、ガラス溶融炉の設備更新に合わせ、ダイレクトプレス技術の再進化に向けて新しい成型方法を導入した溶融炉と成型設備を導入する。

今回の設備投資でレンズの小型化や高精度化・セルの微細化を実現し、プロジェクターの固体光源化対応と、より高精度が要求される車載分野への商品展開を目指す。

設備投資金額は約6億9000万円。2025年4月の稼働開始の予定。

■日本コンクリート工業と出光興産、合成炭酸カルシウム製造のためのパイロットプラントを滋賀工場内に建設

日本コンクリート工業(日コン)と出光興産は、共同で取り組んでいる合成炭酸カルシウム製造・販売の事業化とCO2再資源化技術の社会実装について、取り組みの第一弾として「コンクリートスラッジを利用した合成炭酸カルシウム製造によるCO2固定化実証試



験」のパイロットプラントを、日コン子会社のNC西日本パイル製造の滋賀工場内に建設する。

パイロットプラントにおける合成炭酸カルシウムの製造能力は700トン/年で、設備の性能と製造した合成炭酸カルシウムの品質を確認し、市場の確保ができ次第、滋賀工場設備を商業機に切り替え稼働させる予定。また量産化に向け、日コングループの他の工場でもプラントを順次立ち上げ、2024年度内の商業化を目指す。

■北海道はまなす食品、北海道北広島市から江別市に新工場移転

納豆の製造を行う北海道はまなす食品は、北海道北広島市にあった本社工場について、江別市西野幌497-25に新工場を建設して移転した。

■フルハシEPO、千葉県柏市の資源循環事業の新工場「柏リサイクルガーデン」が稼働

フルハシEPOは、千葉県柏市大島田で建設を進めてきた「柏リサイクルガーデン」が稼働開始した。新工場は資源循環事業の事業所として、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくずおよび陶磁器くず、がれき類を破砕し、廃プラスチック類、紙くずを圧縮して中間処理を行う。処理量は年間3万立方メートルを見込む。新工場への投資額は約5600万円。敷地面積は1301平方メートル、工場棟面積は1561.7平方メートル。

■グラノプト、秋田県能代市にファラデーローテータの新工場を建設

住友金属鉱山と三菱ガス化の合併会社のグラノプトは、光通信市場の成長に伴って需要が拡大している光アイソレータ等の材料に使われるファラデーローテータ(ファラデー回転子、FR)について、秋田県能代市扇田字扇田4番地12)を建設した。



能代市扇田字扇田4番地12)を建設した。

新工場は、現在FRを製造している工場の北隣に建設。BCP対応に加え、太陽光発電の設置、カーボンニュートラル製品の供給やスマート工場化に対応できるような設計となっている。鉄筋造り地上2階建て、敷地面積は1万1586平方メートル、建屋面積6706平方メートル。

■DOWAエコシステム、熊本県宇城市松橋町にリサイクル事業の新工場

DOWAエコシステムは、九州地区における環境・リサイクル事業のさらなる拡充に向け、熊本県宇城市松橋町萩尾地内に新たにリサイクル事業拠点となる熊本新工場を新設する。

新工場は子会社のアクトビーリサイクルの分工場建設からスタートし、アクトビー分工場では家電4品目由来の非鉄金属・プラスチックの単一素材化や小型家電リサイクル、RPF(固形燃料)製造などを行う。将来的には、九州地区に集積が見込まれる半導体産業を主な顧客とした貴金属リサイクルや、大量排出が見込まれるリチウムイオン電池、太陽光パネルのリサイクルなども検討していく。

敷地面積は約10万平方メートル(開発面積)、約6.8万平方メートル(有効面積)。建屋面積は約6000平方メートル(アクトビー分工場)。2023年8月に着工、2025年春稼働開始。投資金額は約50億円。



海外

■日華化学、バングラデシュに現地法人設立&新工場を建設

日華化学は、バングラデシュのバングラデシュ経済特区に現地法人Nicca Bangladesh Co., Ltd.(仮)を設立し、繊維加工用界面活性剤を製造する新工場を建設する。

バングラデシュは中国に次ぐ世界第2位のアパレル輸出国であり、繊維産業は国のメイン産業と位置付けられ、外資誘致推進や大型投資が積極的に行われている。

新工場の敷地面積は1万3602平方メートル。稼働開始は2025年中を予定している。

■フジテック、インドのチェンナイ市近郊のエレベーター工場の第二工場が稼働開始

フジテックのグループ法人フジテック・インドは、インド・チェンナイ市近郊のエレベーター工場に第二工場を建設し、全面稼働を開始した。

同工場は、需要が高まるインド国内での拡販や南アジア地域への輸出拡大を目的とし、生産スペースを従来の2倍以上に拡張。新たに高さ78.9メートルのエレベーター研究塔を建設し、高速機種の機器開発など現地での開発体制を強化し、建物の高層化が進むインドのエレベーター需要に対応する。敷地面積は3万9000平方メートル。フジテック・インドは、インド国内での生産能力を



増強し、2023年中に現在の年間2000台から1.5倍の3000台に引き上げる予定。

■松屋アールアンドティ、ベトナムに新工場

松屋アールアンドティは、ベトナム・ドンナイ省ホーナイ工業団地内に建設していた新工場が完成した。9月に稼働を開始する。

新工場では、独自開発の生産管理システムを各事業に導入して生産性を大きく改善させていく。不良がいつ、どこで、だれが行った作業かを瞬時に特定するトレーサビリティ機能により、生産現場における不良対応を迅速に実施し、生産効率を上げてコストを大きく削減していくほか、データ入力の自動化によるインプットミスの削減、誤った部品の投入や、必要な工程を飛ばしてしまうなどあらゆる不良の原因となるリスクを低減する各種ポカヨケ装置により、不良率を大きく減らし、製造現場でのコスト削減を図っていく。また太陽光などクリーンエネルギーの活用によりCO2削減を進める。

敷地面積は4万1634.80平方メートルで、建築面積は2万5466.65平方メートル。投資金額は20億円。



Just Products logo and text: 挑戦する盤メーカーをサポートする会社。コスト、生産性、脱炭素。それだけにどまらない、銅バー加工の外注化のメリットをお伝えします。株式会社ジャストプロダクツ

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wi-Fi)
ECU-150(LTE/Wi-Fi)
ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ



ARM A8 ARM A53x4 ARM A8

WISE-4220(Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
https://www.advantech.com/ja-jp/



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861